

最速降下線問題 (1)

例題 10. 最速降下線問題

t 秒後の位置を (x, y) , 出発点からの道のりを s とする. 題意より出発点は $(0, 0)$, 終点は (x_1, y_1) である. また, 便宜上 y 座標は下向きを正とする.

$$\frac{ds}{dt} = \sqrt{2gy}$$
$$ds = \sqrt{(dx)^2 + (dy)^2}$$

より ds を消去すると,

$$dt = \frac{\sqrt{(dx)^2 + (dy)^2}}{\sqrt{2gy}}$$
$$dt = \frac{\sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2}}{\sqrt{2gy}} dx$$

両辺を積分して,

$$t = \int \frac{\sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2}}{\sqrt{2gy}} dx$$

また, 全行程の所要時間は, 次の汎関数で表される.

$$v(y(x)) = \int_0^{x_1} \frac{\sqrt{1 + (y')^2}}{\sqrt{2gy}} dx = \frac{1}{\sqrt{2g}} \int_0^{x_1} \frac{\sqrt{1 + (y')^2}}{\sqrt{y}} dx, y(0) = y(2\pi) = 0$$

この値は重力加速度の平方根に反比例しているが, 重力加速度が極値曲線に全く影響を与えていないこともわかる. この汎関数の極値曲線を求めるには,

$$F(y, y') = \frac{\sqrt{1 + (y')^2}}{\sqrt{y}}$$

として, オイラーの方程式を立て, 解けばよいことになる. F は, x を含んでいないので,

$$F - y' F_{y'} = C$$

と書き表すことができる. つまり,

$$\frac{\sqrt{1 + (y')^2}}{\sqrt{y}} - \frac{(y')^2}{\sqrt{y(1 + (y')^2)}} = C$$

を解けばよいことになる.

$$1 = C\sqrt{y(1 + (y')^2)}$$

両辺を 2 乗して,

$$y(1 + (y')^2) = C_1$$

とおける.

$$y' = \sqrt{\frac{C_1 - y}{y}}$$

$$\sqrt{\frac{y}{C_1 - y}} \frac{dy}{dx} = 1$$

両辺を積分して、

$$\int \sqrt{\frac{y}{C_1 - y}} dy = x$$

$y = \frac{C_1}{2} - t$ とおくと、 $dx = -dt$ であるから、

$$-\int \sqrt{\frac{\frac{C_1}{2} - t}{\frac{C_1}{2} + t}} dt = x$$

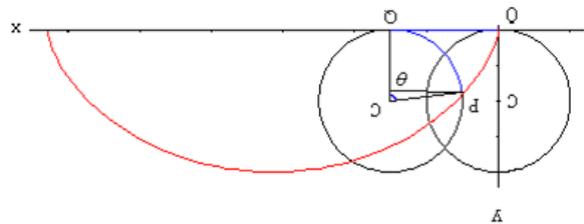
$\frac{C_1}{2} = C_2, t = C_2 \cos \theta$ とおくと、 $dt = -C_2 \sin \theta d\theta$ であるから、

$$\begin{aligned} x &= C_2 \int \sqrt{\frac{1 - \cos \theta}{1 + \cos \theta}} \sin \theta d\theta \\ &= C_2 \int \frac{\sin \frac{\theta}{2}}{\cos \frac{\theta}{2}} \sin \theta d\theta \\ &= C_2 \int \frac{\sin \frac{\theta}{2}}{\cos \frac{\theta}{2}} 2 \sin \frac{\theta}{2} \cos \frac{\theta}{2} d\theta \\ &= C_2 \int 2 \sin^2 \frac{\theta}{2} d\theta \\ &= C_2 \int (1 - \cos \theta) d\theta \\ \begin{cases} x = C_2(\theta - \sin \theta) + C_3 \\ y = C_2 - C_2 \cos \theta \end{cases} \end{aligned}$$

となり、この極値曲線はサイクロイド (cycloid)

である。初期条件より、

$$\begin{aligned} C_3 &= 0 \\ \therefore \begin{cases} x = C_2(\theta - \sin \theta) \\ y = C_2(1 - \cos \theta) \end{cases} \quad \dots (\text{答え}) \end{aligned}$$



参考文献

- [1] L.E.Elsgolc 瀬川富士訳 『科学者・技術者のための変分法 - 理工学海外名著シリーズ 11 - 』
(ブレイン図書出版, 1972年)